

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公開番号】特開2000-163726(P2000-163726A)

【公開日】平成12年6月16日(2000.6.16)

【出願番号】特願平10-331329

【国際特許分類】

G 11 B 5/53 (2006.01)

G 11 B 5/52 (2006.01)

【F I】

G 11 B 5/53 103 A

G 11 B 5/52 Q

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月11日(2005.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 磁気ヘッドを備えた回転ドラムと、テープを案内するリードを設けた固定ドラムとが、同軸に回転自在に配置され、前記固定ドラムに配置されたモータステータと、前記回転ドラムに配置されたモータロータが対向する位置に取り付けられて、

前記回転ドラムの上面に固定されたロータリトランスのロータと、ドラムカバーの底面に固定されたロータリトランスのステータとが対向して配置されて、

ドラム周面に巻き付けた磁気テープに対して前記磁気ヘッドによって信号を記録または再生する回転ドラム装置であって、

前記ロータリトランスは前記回転ドラムに設けられたヘッド高さ調整用穴が露出する形状とすることを特徴とする回転ドラム装置。

【請求項2】 磁気ヘッドを備えた回転ドラムと、テープを案内するリードを設けた固定ドラムとが、同軸に回転自在に配置され、

前記回転ドラムの上面にロータリトランスが配置されて、

ドラム周面に巻き付けた磁気テープに対して前記磁気ヘッドによって信号を記録または再生する回転ドラム装置であって、

前記ロータリトランスは前記回転ドラムに設けられたヘッド高さ調整用穴が露出する形状とすることを特徴とする回転ドラム装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

本願の請求項1記載の発明は、磁気ヘッドを備えた回転ドラムと、テープを案内するリードを設けた固定ドラムとが、同軸に回転自在に配置され、前記固定ドラムに配置されたモータステータと、前記回転ドラムに配置されたモータロータが対向する位置に取り付けられて、前記回転ドラムの上面に固定されたロータリトランスのロータと、ドラムカバーの底面に固定されたロータリトランスのステータとが対向して配置されて、ドラム周面に

巻き付けた磁気テープに対して前記磁気ヘッドによって信号を記録または再生する回転ドラム装置であって、前記ロータリトランスは前記回転ドラムに設けられたヘッド高さ調整用穴が露出する形状とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この構成によれば、ロータリトランスは回転ドラムに設けられたヘッド高さ調整用穴が露出する形状としたので、組み立て完成後に、回転ドラムのヘッド高さ調整用穴が露出しており、調整ネジを回すドライバが挿入可能である。

【手続補正4】

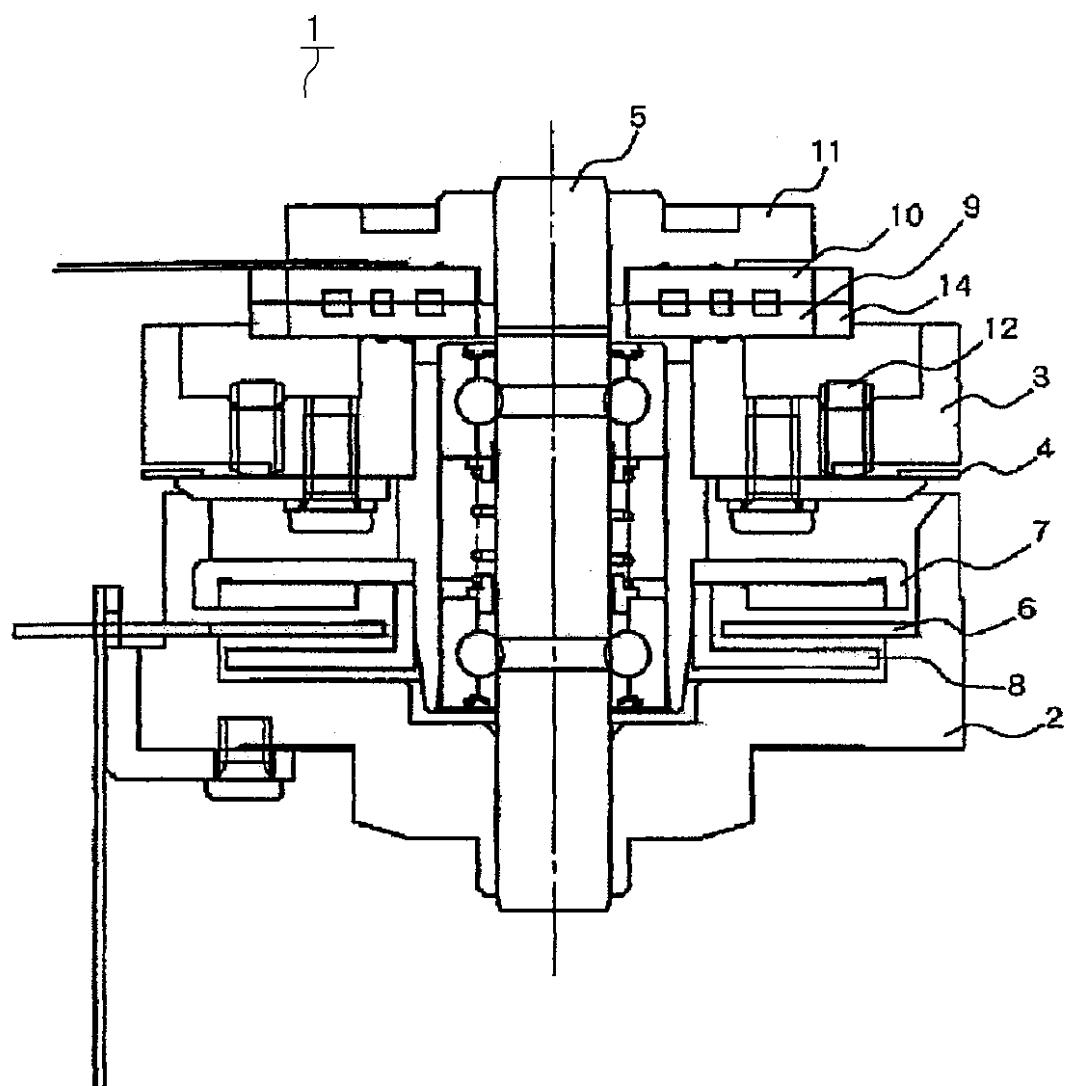
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図5】

